

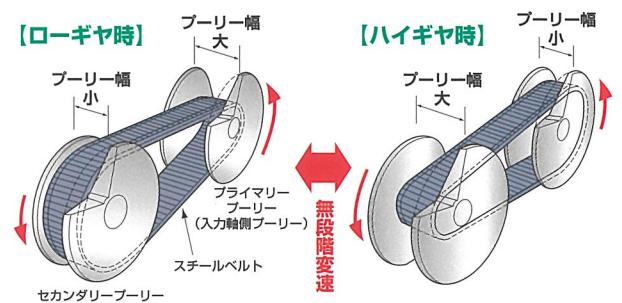
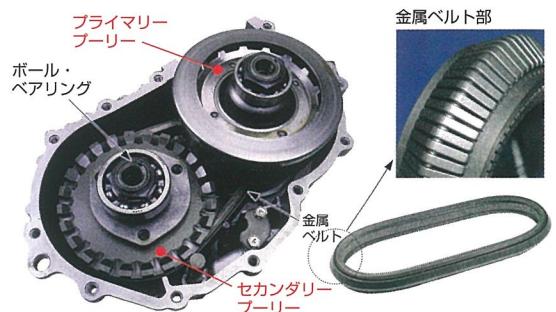
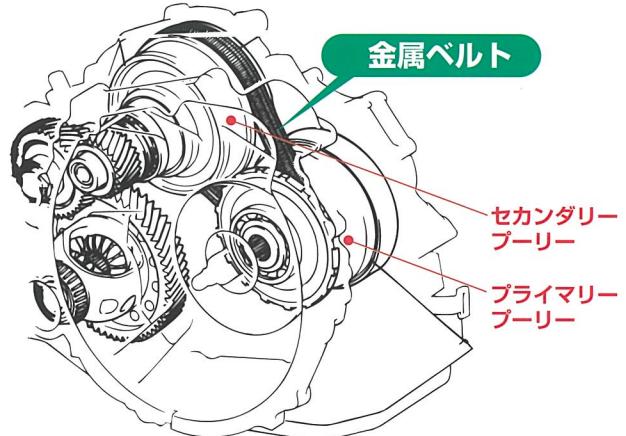
# Auto Lube CVTF

## 金属ベルトタイプCVT専用フルード

Continuously Variable Transmission Fluid

### ●オートルブCVTF

- 一般的ATはプラネタリーギヤにより変換を行うのに対し、CVTは油圧によって自在に溝幅を変化させることができない一対のブーリーと金属ベルトにより変速を行います。変速時はブーリー幅を加減することにより、無段階変速が可能になるのです。
- CVTは無段変速装置の呼称ですが、一般にCVTといえば、金属ベルトと可変ブーリーを組み合わせた変速機構を指します。出力軸、入力軸にそれぞれつながった2つの可変ブーリーには、伸びや異音を発生させないような形状で精密に組み合わせており、しかも構成する金属ベルトが強く巻き付いています。
- CVTは特に高速・高荷重状態になります。従って、通常のATフルードでは金属間の摩擦係数が小さいため、金属ベルトとブーリー間ですべりを生じ、本来の性能を損なったり、異音を発生させる結果となってしまいます。
- オートルブCVTFはCVTメーカーの審査にもクリアーした**CVT専用フルード**です。



### ●特長

- ① 金属ベルトタイプCVT車専用のフルードです。
- ② 一般的ATフルードに比べ金属摩擦係数が高く、金属ベルト、ブーリーの摺動磨耗を防ぎます。
- ③ ロックアップクラッチのシャダー防止にも優れています。
- ④ 高排気量の車両にも十分なトルク伝達を確保します。
- ⑤ 最適な摩擦係数を有し、スムーズなリニア変速を行い快適なドライブフィーリングが得られます。
- ⑥ 金属ベルトの滑りによる異音発生を低減させます。
- ⑦ 熱安定性、酸化安定性に優れ、長期間安定した性能を發揮します。

※CVT専用フルードであり、一般的AT車には使用できません。

### ●代表性状

項目		代表値
密度(15℃)	(g/cm <sup>3</sup> )	0.850
引火点(COC)	℃	200
色相		緑色系
動粘度(40℃)	mm <sup>2</sup> /s	33.26
(100℃)	mm <sup>2</sup> /s	7.036
低粘度(~40℃)	mPa·s	8.440
粘度指数		181
流動点	℃	-50以下
全酸価	mgKOH/g	0.88
全塩基価(HCL)	mgKOH/g	1.13
金属間摩擦係数 LFW1 250Lbf 0.25m/s		0.136

